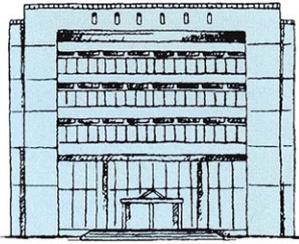


西南学院大学

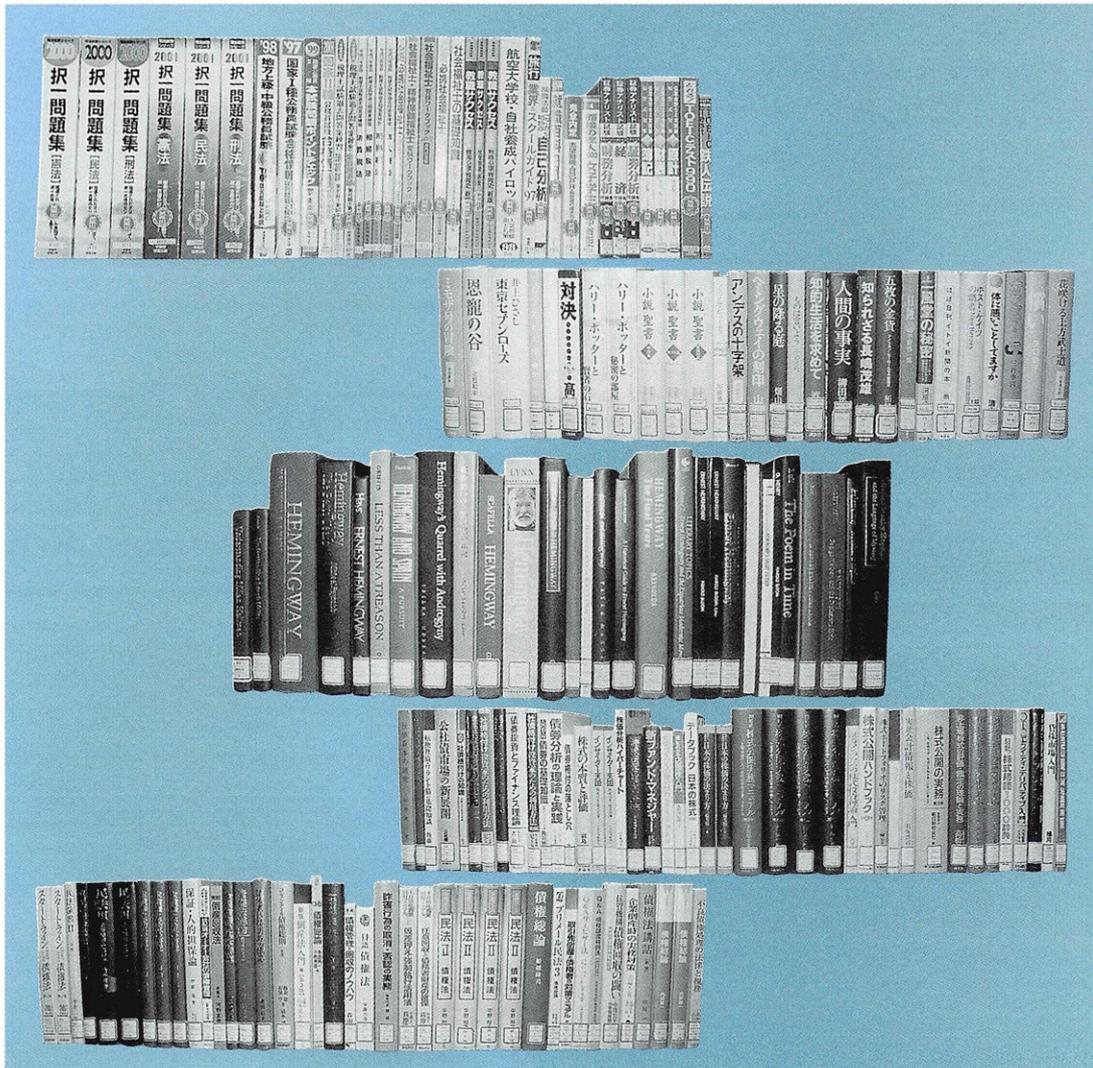


# 図書館報

No.

152

2002. 4



## 目次

東洋と西洋の融合をめぐる想い

図書館長 尾上 修悟 2

"A Sense of Purpose" 元図書館長 八木 幹 3

図書館のツボ ～西南学院大学の場合～

情報サービス課 相田 芙美子 4

司書教諭資格取得のすすめ

文学部児童教育学科教授 生野 金三 6

図書館を宝箱に！ 法学部助教授 柳 明昌 6

開館時間を平日午後10時まで延長 7

お知らせ・編集後記 8



## 東洋と西洋の融合をめぐる想い

図書館長 尾上 修 悟

私は現在、ヨーロッパ統合下のフランスの経済・金融について主に研究しています。最近、あるフランス人によるヨーロッパ統合の研究書を読んでいたときに、私は1つの極めて興味深い事を経験しました。そのことはまた、私に、読書の楽しみを再認識させてくれたのです。その本（「ユーロの諸問題」）の中には、今までに、ヨーロッパが統合を進める必要がある事を示した著名な作家や思想家の言葉がいろいろと引用されています。一般に有名な、サン・シモン、ヴァレリ、ユーゴ等の言葉はもちろん載っていました。しかし、それらの中で私が一番注目したのは、ポルトガルの詩人、ペソアという言葉でした。というのも、私はそれまで、ペソアという名前を見たことも聞いたこともなかったからです。ペソアはそこで、「リスボンにある家の庭は、ポルトガルの庭であると同時にヨーロッパの庭である、と認識する必要がある」と述べています。それは、私にはとても示唆的なもの、と思えたのです。

それ以来、ペソアという名前は、私の頭の中にしっかりと刻み込まれました。そんなときに、私は偶然に本屋で、ペソアの著書の最新の翻訳書（「不穏の書、断章」）を見つけました。早速手に入れて読んでみると、そこには実に興味深い事があるといふと書かれていたのです。なかでも彼が、盛んに「私は私ではない」と述べていることが、私には非常に印象的でした。というのも、その言い方は、どうも西洋人的ではなかったからです。それは、「私は私である」という西洋思想の1つの規範となった同一律を否定したものです。同時にそれは、インドのバラモン教の教えに基づくものでもあります。なぜペソアはそんな言葉を発したのだろうか。私は不思議に思いました。その謎も、その本のあとがきを読んで氷解しました。彼は度々インドに赴いていたのです。さらに驚いたことに、ペソアという詩人は今まで、ヨーロッパでほとんど評価されていなかったのです。では、なぜ今、ペソアが注目されているのだろうか。これが、次に私に浮かんだ疑問でした。

ペソアに関する、この第2の疑問に答えるためには、また新たな視点が必要となりました。今日の世界の思想の流れを特徴付けるものとして、東洋思想と西洋思想の融合という発想があります。比較社会学者でパレスチナ人のサイードは、「オリエンタリズム」を著し、学界に一大旋風を巻

き起こしました。それは文字どおり、西洋中心主義に対するアンチ・テーゼとして著わされたのです。それに対して最近、サイードの友人であるダルマイヤーというアメリカ人の国際政治学者が、「オリエンタリズムを超えて」という本を著し、サイードのテーゼに答えようとしています。西洋中心主義でもなく、また、その対立概念としての東洋中心主義でもない、両者を融合した形の新しい発想が必要であることを彼は訴えたのです。因みにダルマイヤーは、東西のあらゆる言語に通じると同時に、インドでも暮らしたことがある人です。フランスの現代思想家を代表するデリダもやはり、東洋思想に傾倒する一人です。以上のような脈絡で捉えてみると、両大戦間期に活動したペソアが、なぜ今再評価されているのか、ようやくわかる気がしました。

しかし、ふり返ってみると、西洋人の東洋思想への思い入れは、何も今始まった事ではないのです。19世紀にすでに、ショーペンハウエルなどによって、東洋思想、とりわけインド思想がヨーロッパで盛んに紹介されました。その影響を大いに受けたのが、あのニーチェです。そしてもう一人、楽劇家ヴァーグナーがそうなのです。私はかねがね、彼の楽劇に東洋的なものを強く感じていました。代表作の「ニーベルングの指輪」に表されたブリュンヒルデの自己犠牲は、その端的な例です。最近、そうした両者の関係を見事に解き明かしてくれる本が出ました。スウェーデンの研究者スネソンの本がそれです（「ヴァーグナーとインドの精神世界」）。1世紀以上を経て、再び西洋と東洋が接近しつつあることを私は実感しています。それこそが、まさしくグローバリゼーション（globeという言葉は本来、一体という意味を表します）なのです。私はふとしたことからペソアを知り、それから連鎖的にいろいろな本と出会い、様々な想いをめぐらせることができました。そのことはまた、読書を通じて得た大きな喜びであったのです。

さて、新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんはこれから4年間、大学の図書館を中心に、数多くのいろいろな本と出会うと思います。そうした出会いの度に、上述したような読書の連鎖的な楽しみを、ぜひ味わって欲しいと思うのです。

（経済学部教授）



## “A Sense of Purpose”

元図書館長 八木 幹

“見れば解る”果たしてそうであろうか。存在するものが、そのまゝ視野にとらえられ、認識の対象として扱われるものであれば、世の中は楽なものである。紛争解決の努力の必要もなく、関係者相互の誤解も衝突もない。誤解の余地のない世界が出現する。『ハムレット』の世界で Being と Seeming の次元が重なり、善が善であることを主張し、悪がそのまゝ悪を印象づけてしまうことが可能であれば、デンマークの王子が舞台から退散した『ハムレット』の世界が、終始同義反復の構図となって、価値の衝突を見失い、悲劇の世界は消滅する。

19世紀の半ば英京ロンドンの中心街では売春婦が出没し、その数8万に及んだと識者は計算する。一方ヴィクトリア朝特有の二重基準、“public virtue vs private shame”の賢明な集団偽善思考のプログラムによって、ピカデリー界隈を徘徊する着飾った娼婦の存在は、当時の上流階級の視界を素通りし、‘invisible’であったと云う。アンデルセンの童話、“裸の王様”の寓話の世界が裏表になって実現する。ヴィクトリア朝の社交界の二重思考にあって、或る種の悪は、彼等の意識から消滅する。アンデルセンの世界で、王様は美服をまとう。子供の眼が、敬愛する王様の現実を直視するとき、大人の思惑が、実体のない幻影の装いを主張する。対象を直視するプログラムが用意されていない限り、眼前の現象は、意識を素通りして、視界から消えてしまう。

1967年の秋から1968年の夏にかけて、Cambridgeの郊外西4マイル離れた Madingley Hall で在外研究の日を過した。初夏の或る日、田舎道を散策すると、りんご畑で、豚の一群が淡紅色の肌をさらしていた。愛嬌のある鼻、おどけた耳、短かいしっぽが穏やかな日ざしの中で、如何にも田園の自然に調和していた。およそ300年前のイギリ

スでは中世以来の最後のペストが猛威を振っていた。当時 Cambridge の Trinity College で学んでいた若い Isaac Newton も、疫病の流行を避けて、故里のりんご園を眺めての日々であったであろう。アダムとイヴ以来の人類のつきあいである。りんごの落下、やがて Cambridge の誇る、イギリス最大の知の巨人の休暇のひとつ、後年の万有引力の着想がうかんだ可能性を想う。見れば解る。果たしてそうであろうか。今年もりんごの実が成熟した。なかには地上に落下するものもある。毎年現象だ。不思議なことではない。何故、夜空に輝くあの月は落ちてこない。凡人と天才の差である。現象から本質を洞察し、見えぬものゝ存在を探求するのは、確かに天才にのみ許された宿命であろう。知的好奇心の積極的参加、集中する問題意識、持続する解明への努力があって、始めて見れば解るの事態に近づく筈である。プログラムを用意するのは、当人の自主的な行為である。

大学図書館は、心臓とは云えぬにしても、少なくともその大学の一つの顔である。同時に、その存在が徒らに所蔵資料、書籍の数量を誇る巨大な書庫に終始しては、滑稽であり、残念である。学生がその前を素通りし、時にその前の広場を大学施設の一つの風景として記憶に留めるだけでは、孤島のロビンソンの目撃した金銀の貨幣同然である。読まない本は、本ではない。死んだ情報が、情報と云えないように。

入館証と同時に、“A Sense of Purpose”を用意することが、貴重な資料に近づく当然の覚悟であろう。問題意識を放棄したとき、知的参加への積極性をおろそかにするとき、見えるものが見えなくなり、見れば解るの安易な期待が飛散する。

(March, 2002)

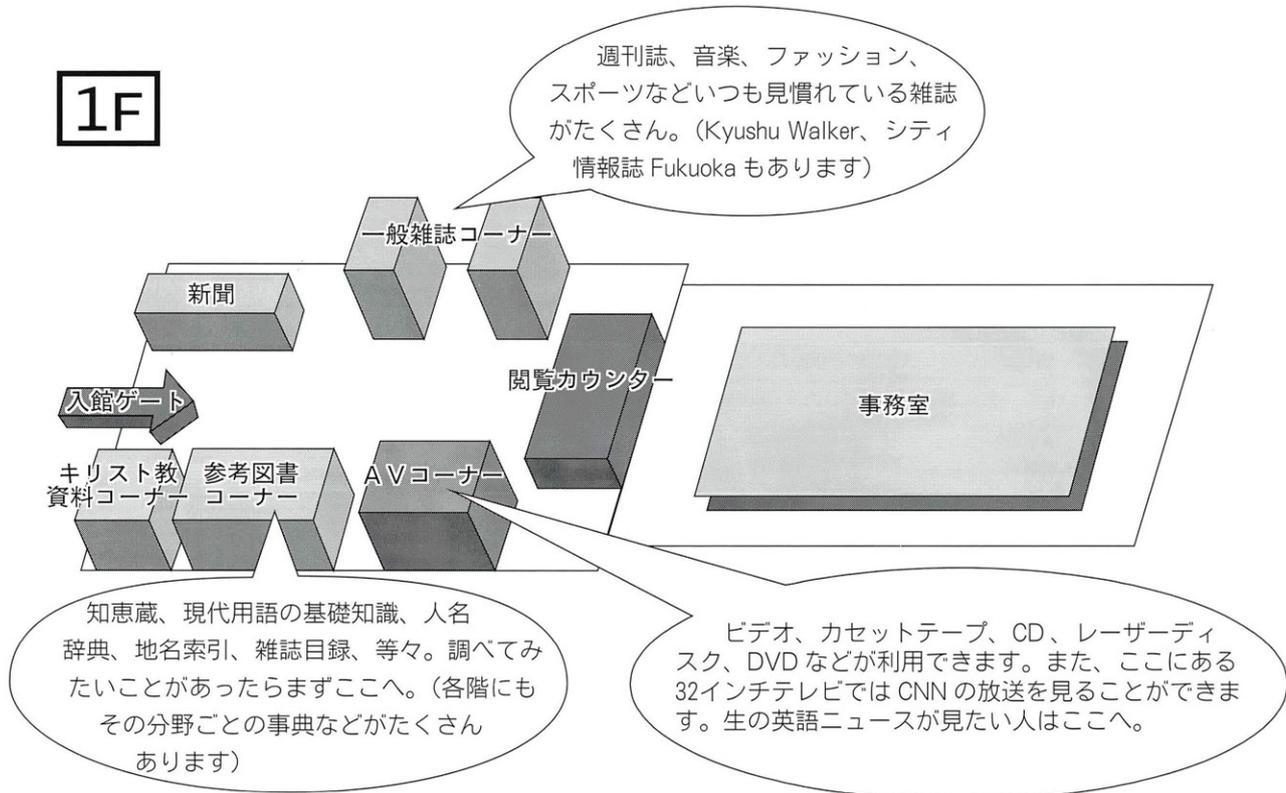
(元文学部英文学教授)

## 図書館のツボ ～西南学院大学の場合～

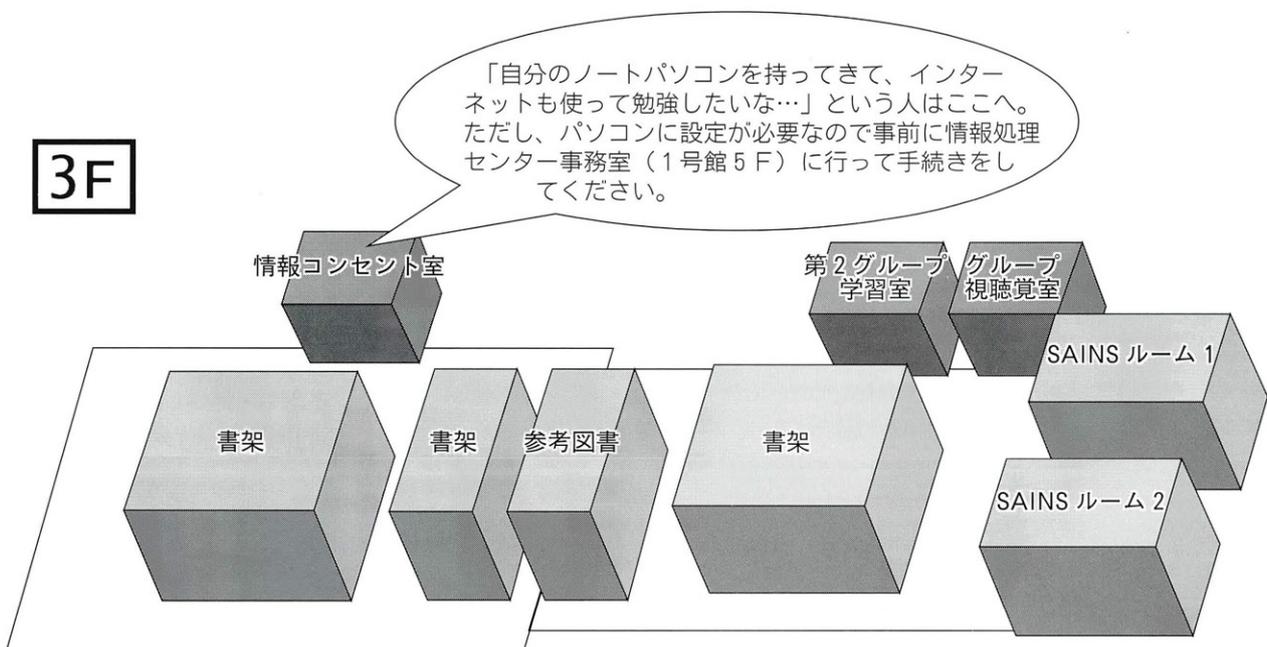
今回は新春特集として、みなさんに、西南学院大学の図書館の中で、ここは押さえておいてほしいという資料と場所を紹介します。大学図書館は高校の図書館、公共の図書館とはまた違うおもしろさがあるということを知っていただければと思います。

(情報サービス課 相田 芙美子)

1F



3F



# 2F

学部ごとにその分野の専門雑誌がたくさんあります。雑誌には最新情報が載っているので、自分の興味のある雑誌をみつけて毎月読むのもおもしろいですよ。

先生ごとに担当の授業に関係のある図書をまとめています。

これからは日本だけじゃなく、世界で何が起きているかを知る必要あり。ここには、国連、EU、OECDが発行している図書や雑誌、国際協力に関する資料を集めています。ぜひ一度のぞいてみよう。

大学図書館には難しい本しかないとしたら大間違い。ここには世間で話題になった本を集めています。読みたかったあの本がいっぱい。

「あの資格、職業に興味があるんだけど…」と考えている人はぜひここへ。様々な資格、職業の対策問題集がたくさん。

岩波、中公、新潮等々、そろっています。

図書や雑誌だけでなく、CD-ROM やデータベースも使って探している情報を見つけよう。

# 4F

英米文学の中でも有名な作品を集めたコーナー。

英語の読解力を身につけるには、まずたくさんの文章を読むこと。そんな時は読みやすいペーパーバックから始めてはどうでしょうか。このシリーズは読者の能力を考えてレベル分けがされています。きっと、自分にあったレベルのものが見つかるはず。内容も映画にもなったものなど読みやすい作品がまとめられています。

もっと詳しいことを知りたい人は情報満載の図書館のホームページへ！  
 →<http://www.seinan-gu.ac.jp/library/index.html>



## 司書教諭資格取得のすすめ

文学部児童教育学科 教授

生野 金三

小学校と中学校では平成14年4月より、高等学校では平成15年4月より、「総合的な学習の時間」がそれぞれ実施されることになっている。この「総合的な学習の時間」は、新たな教育改革のキーワードとなっている「生きる力」を育むに当たって、極めて重要な役割を担っている。そして、それはそれぞれの学校における教育課程を創造し、特色ある学校づくりの要ともなっている。

この「総合的な学習の時間」では、児童や生徒が自らの興味や関心にしたがって課題を発見し、多様にメディアを用いてそれに関する情報を収集し、自分で考え、判断して課題を解決していくという学習方法を重視している。斯様な学習が成立するためには、図書館メディアやそのメディアの利用法を理解しておく必要がある。メディアの利用法を教え、メディア活用能力を育成するのが学校図書館の利用指導である。

上記のように学習指導を推進するためには学校図書館の専門的職務を掌る人が必要である。それを司書教諭というが、教諭をもって充てることになっている。「学校図書館司書教諭講習規程」(平成10年改正)によると、①小学校、中学校、高等学校等の教育職員免許状を取得すること。②大学に2年以上在学し62単位以上を修得した者、が受講資格となっており、そして5教科10単位を修得することになっている。その主たる科目には、「学校図書館メディアの構成」「学習指導と学校図書館」「読書と豊かな人間性」等がある。斯様に司書教諭に有資格者の養成が積極的に行われるようになった背景には、平成15年度より12学級以上の学校においては司書教諭を設置するという「学校図書館法」の一部改正が行われたためである。教育現場においては、司書教諭の有資格者が学級担任、教科担任をしながら司書教諭の仕事も兼務することになる。

将来教員を目指す人は、上記のことに鑑み、是非司書教諭の資格を取得して欲しい。勿論、新入生で教員を目指している皆さんにもこのことを勧めたい。最後に学校図書館やそのメディア活用に関する図書を紹介しておく。朝比奈大作編著『学習指導と学校図書館』(樹村房)、緑川信之編『学校図書館メディアの構成』(学文社)、小森茂他監『豊かな心と読書指導・学校図書館の利用』(明治図書)等がそれである。



## 図書館を宝箱に！

法学部 助教授

柳 明昌

クリフォード・ストールの『インターネットはからっぽの洞窟』(倉骨彰訳、草思社)という本があります。原題は、「SILICON SNAKE OIL, Thoughts on the Information Highway」(情報ハイウェイにつける蝦蟇の油(似非薬))です。著者の意図がインターネット自体の否定にあるとは思えませんが、インターネットはメディアに過ぎず、その意味でそこに詰め込む中味が重要であるという話であるなら一特に新鮮味のある主張とは思えないが一賛同はできます。この話、一体、図書館とどういう関係があるのでしょうか？

実は、この本、図書館の役割を考える上でよい教材といえます。そして図書館の役割を考えますと、必然的に新入生を含む在学生全員(以下、在学生)の図書館との関わりが問題となります。図書館は物理的にみればからっぽということはないし、きちんと大量の蔵書や雑誌、優秀な図書館員がそろっています。しかしながら、問題は、在学生の皆さんの利用の仕方です。図書館は物理的にからっぽではないにせよ、利用者一人一人の「関心」や「テーマ」に基づく図書館員および図書等との出会いがないならば、からっぽに等しいのです。その意味で、図書館をからっぽの洞窟にしないためには、教員・図書館側のみならず、在学生の皆さんの図書館との関わりが大変重要となってきます。とはいうものの、実は、教員・図書館サイドでも、電子図書館のあり方など高度情報化時代における「図書館」のあり方について議論を深めていく必要があることは否定できません。

在学生の皆さんの図書館との関わりに限って言えば、図書館をからっぽにしないためには、「テーマ」をもつこと、換言すれば「関心をもつ」ことが求められます。ところが、これは意外と難しいかもしれません。「では、どうすればいいですか？」と直ちに質問されそうです。私のこれまでの経験では、目先の目標に追い立てられてきた新入生には、全く何もしないでいてみることも意外と効果があるように思います。あるいは、気の向くまま何にでも首を突っ込んでみるのもよいかもしれません。自分なりに試行錯誤を重ねることに意味があります。何かを知りたくなる、テーマをもつことができるならば、図書館は、教科書を借りる場所、試験のための勉強場所から、宝箱に変わることでしょう。そうなることを願ってやみません。

# 開館時間を平日午後10時まで延長

## 授業・定期試験期間の支援措置

### ●25年ぶりに開館時間を延長

1977（昭和52）年10月以来、図書館は年間を通して午後9時まで開館してきました。この間、図書館機械化（1989年）、70万冊収蔵の図書館を120万冊収蔵可能とする増改築（1993年）が、また、パソコン実習室（S A I N S ルーム）の設置でインターネット利用による外部データベースの利用が実現するなど、様々の制度とシステムが付加されてきています。図書館の旧来の姿であった保存機能から、情報収集・提供の機能が急激に展開された時代でもあります。

利便性が高まり、情報収集、機械検索のよい環境を学生にもっと密着させ、学習の成果を向上させる支援策として、25年ぶりに開館時間を見直しました。

### ●利用実態に応じて開館時間を延長

図書目録はO P A Cで検索し、図書館は夜遅くまで利用することができます。学生にとってはますます便利になっている図書館は、授業・定期試験期間を初め、利用者数が非常に増加しています。年間を通しての延べ入館者数は2000年度で約45万人。学生1人が年間60回入館したことになります。

季節で見ると2001年8月は14,000人ですが、9月は44,000人というように特徴があります。こうした現実に鑑み、授業・定期試験期間は開館時間を1時間延長し、午後10時まで開館することにしました。

### ●ランニングコストの節約

ランニングコストは、光熱水費だけでも旧館時代の3倍以上になっています。学内で最も快適に

勉強できる環境を維持するためには、ランニングコストを持ち出すことは避けたいのですが、長期休暇中のように非常に閑散とした時期には、開館時間を短縮し、エネルギー消費節減を行うこともやむを得ないと思います。

### ●土曜日の開館

2001年度から土曜日の授業がなくなり、学生は事実上週休二日制になりました。そこで本部・大学事務局においても、職員の週休二日制を実現することになりましたが、図書館は従来どおり開館します。

### ●外部労働力の導入／嘱託勤務を廃止

時間外（夜間及び土曜日）は専任職員不在となるため、管理運営を外部労働力に委嘱し、25年間続いた夜間嘱託勤務を廃止しました。これからの勤務者は、司書有資格者や図書館勤務経験者となり、専門的、応用的な分野で強みを発揮するでしょう。

### ●時間外におけるサービスの割愛

上記で説明したように、時間外においては外部労働力を導入します。専任職員が不在ということもあって、平日と同じ業務を行うという訳にはいきません。高度なレファレンスや複雑な手続きを割愛することがありますので、ご理解をお願いいたします。

### ●図書館 S A I N S ルームも利用時間延長

図書館の開館時間を延長（又は短縮）することに伴い、図書館 S A I N S ルームも閉館30分前まで利用することができます。

		開館時間	特記事項
授業実施期間	月～金	9:00～22:00	補講期間を含む
	土	10:00～20:00	
定期試験期間	月～金	9:00～22:00	最終日は短縮する
	土	10:00～21:00	
夏季休暇期間	月～金	10:00～20:00	
	土	10:00～20:00	
春・冬季休暇期間	月～金	9:00～19:00	後期試験終了翌日から春季休暇とする
	土	9:00～19:00	

注：開館時間は学年暦どおりではなく、利用状況によって変動する。各期間の移行時期には1階ホールに開館時間の変更等掲示をするので、注意すること。また、図書館ホームページにも掲載する。

## 読書とは！

最近読んで本に、古人が読書についてどう語っているかが載っていましたので少し紹介いたします。

- 「ひとり燈のもとに文をひろげて、みぬ世の人を友とするぞ、こよなう慰むわざなる。」(吉田兼好「徒然草」)
- 他の場合においてと同様、読書にも勇気が必要である。ひとは先ず始めなければならぬ。我々はつねに読書に好都合な状態にあるのではない。読書に好都合な状態ができてから読書しようとするならば、遂に読書しないで終わるであろう。(三木清「読書と人生」)
- 新しい感覚をもち新しい問題をもって対するのでなければ古典も生きてこないであろう。すべて過去が活かされ、伝統が甦ってくるのは現在からである。(三木清「読書と人生」)
- 或る人が言う、四五日新聞を見なかったので、世間に遅れたような気がする。新聞を見るから世間に遅れるのである。世間よりも進むという事は世間を離れる事である。大いに進んでいることは大いに離れている事だ。四五日世間とつきあわず、新聞も読まないで、ただじっと自己の内面を反省し、周囲を凝視せよ。また何か読もうというならば、むしろ古人の書を読み。それは自分が世間よりも遥かに離れ、遥かに進み得る最良の法である。(厨川白村「オピテル・スクリプタ」)

## お知らせ

### ◎教育実習、卒業論文のための長期貸出

教育実習や卒業論文作成に使用する資料は、通常の貸出とは別に長期の貸出ができます。教育実習用は5冊40日間、卒業論文用は5冊30日間です。カウンターでその旨申し出てください。

### ◎夏季休暇貸出の実施

夏期休暇に伴う長期貸出を実施します。

受付期間 6月26日(水)～8月17日(土)  
返却期限 9月2日(月)  
貸出冊数 5冊以内

### ◎閉架図書の利用について

図書館には開架に排架されている図書の約3倍の図書が閉架にあります。この閉架図書が帯出できることを知らない人が意外と多いようです。

検索機(OPAC)で調べた図書の所在が「閉架」となっている図書もカウンターに申し出て大いに活用してください。

### ◎学術情報検索室で検索できる種類の変更について

利用できるデータベースの種類が増えました。また、新たに次のCD-ROMがオンラインで利用できるようになりました。

#### ①新たに加わったデータベース

Readers' guide to periodical Literature  
主にアメリカの大衆雑誌240の記事検索ができるデータベース

#### ②オンラインで利用できるようになったCD-ROM

CD 学会年報・研究報告論文総覧1945-1995  
世界文学全集総覧

### ◎指定図書について

指定図書とは、講義担当の先生が科目に関連のある参考図書を特に指定したものです。開架2階にコーナーを設けていますので利用してください。

### ◎学術情報検索室の利用時間延長について

4月から2階の学術情報検索室の利用を閉館30分前まで延長します。

### ◎盗難に注意しましょう

館内でも盗難が発生しています。発生状況は休憩室やSAINSルームを利用するために荷物を置いたまま長時間席を離れたとき、居眠りしているとき、周囲に利用者が少ないときに本の取り出しやトイレ等で“ほんのちょっと”席を離れたときのようなようです。

カバンの中から財布等を抜いたり、カバンそのものを持っていくこともあります。財布や貴重品はいつも身につけておきましょう。

図書館では盗難防止のため、2階に荷物用のロッカー、1階に貴重品用のロッカーを設置しています。ロッカーを活用して盗難に遭わないようにしてください。

## 編集後記

図書等現物資料の有無ならびに保管状況の確認のため、3月に和書の分類番号600番台～900番台について在庫調査を実施しました。約10万冊が対象でしたが、やはりというべきか欠本図書も少なからずありました。皆さんのルールを守った利用を願っています。また、今更の感もしますが、古い本・珍しい本・貴重な本に再会しました。これらの図書が皆さんの利用を待っています。図書を眠らせないでください。(K.A)